

2007.12.1

名曲にまつわるエピソードあれこれ

*** フログラム ***

今日、名曲と呼ばれる作品も、時代をさかのぼってみると、その作品の生まれた背景や作曲家の性格などから、初演にまつわるエピソードがたくさん残されています。今回はそんなエピソード持つ名曲の数々を特集します。特製ステレオでお楽しみ下さい。

フランツ・ヨーゼフ・ハイドン (1810~1856) :

交響曲第94番ト長調「驚愕」～第2楽章、第4楽章

カルロ・マリア・ジュリーニ指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
(1989.5.24 ウィーン・コンツェルトハウス大ホールLive)

オリヴィエ・メシアン (1908~1992) :

世の終りのための四重奏曲

第1楽章“間奏曲”/第8楽章“イエスの永世への讃歌”

リチャード・ストルツマン (クラリネット) /ピーター・ゼルキン (ピアノ)
パメラ・フランク (ヴァイオリン) /ヨーヨー・マ (チェロ)
(1997.9.30 東京オペラシティ・コンサートホールLive)

ヨハン・セバスティアン・バッハ (1685~1750) :

ゴルトベルク変奏曲BWV988～抜粋

グレン・グールド (ピアノ)
(1981年録音 CBSソニー盤)

*** 休憩 ***

ジュゼッペ・ヴェルディ (1813~1901) :

歌劇「アイーダ」

第1幕～“清きアイーダ”/“勝ちて帰れ”

第2幕～“凱行進曲とバリエ音楽”/“第2幕のフィナーレ”

ホセ・カレラス (テノール) /ミレルラ・フレニ (ソプラノ)
ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
ウィーン国立歌劇場合唱団
(1979.7.26 ザルツブルク祝祭大劇場Live)

イゴール・ストラヴィンスキー (1882~1971) :

舞踊音楽「春の祭典」～第1部から、第2部から

サイモン・ラトル指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(1991.11.18 ベルリン、シャウシュピールハウスLive)